

**■持ち物**

## ① 持参するもの

- 授業用ノート：導入事項の板書用・演習用に1冊用意しましょう。テキストに直接書き込んで解くのはお勧めしません。（個人的なオススメはA4サイズの5mm方眼ノートです。高校数学では式や記号が多くなり複雑になるので、文字・記号や図は大きめに書くことを心がけましょう。横罫線入りは数学にあまり向かないと思います。）
- HW用ノート：（→ [HW提出について] を参照）

## ② 授業内で配布するもの

- テキスト：毎回1冊ずつ配布します。
- 解説：テキストに収録されている問題の解説が「映像授業ページ」または「Gnoble生のページ」に掲載されています。掲載期間に限りがあるので、早めにダウンロードしておいてください。
- プリント教材：必要に応じて適宜配布する教材です。

**■授業について**

- \* 基本的に、毎回新しい内容の導入&演習を行います。（季節講習や演習回を除く。）数学の授業では冒頭の導入説明を聞き逃すと、その後の内容を理解したり演習を行うことは困難ですから、20分以上遅刻が予想される場合は後コマ or 他曜日への振替を強く推奨します。
- 毎回冒頭で確認テストを行います。全体の8割（だいたい4/5問）を自力で解決できることが「きちんと復習できている」水準だと考えてください。

**■復習の仕方について** 授業の内容を理解する・授業で扱った問題を解けるようにすることは、習ったことを自分のものにするための第一歩にすぎません。一度理解しても使わない知識はすぐに忘れてしまいますから、復習して定着させることが重要です。

**[復習の手順/ HWの取り組み方]**

## I. 授業ノートを見直し、解けた問題/解けなかった問題を区別する。

解けなかったものを再度自分の手で解き直し、定義や考え方をインプットし直す。

→ 授業でやったことが身につけていない状態で「HW指定題を解く→解けない→解説を見る」を繰り返しても学習の効果はありません。逆に言えば、知識や定石を知らない状態で問題に取り組もうとしても無謀なことが多いので、この段階では「分からないことに出会ったらすぐに解説を確認して、それを真似てみる」という取り組み方でOKです。

ここまでで、その回に授業で扱った問題は全て自力で解ける状態にすることが目標です。

## II. HW 指定題の演習. ここでの目的は,

- ・ 計算方法に慣れ, スムーズに処理できるようにする訓練
  - ・ 自分の頭で考えて習ったことを応用する練習
- です. ノートや解説を参照せずに, 時間がかかっても自力で取り組むのが大切です.

## III. 答え合わせ&間違えた箇所の修正

→ 解説をダウンロードし, 自分の答案を自身でチェックしてください. もちろん間違えた箇所が大切です. 「自分の答案の何がマズかったのか」「計算ミスだとしたらどこにミスがあるのか」を自分で把握し, 時間を空けて後日解き直してください.

何が間違っているのか, どうしても自分でわからない場合もあると思います. そのときは, 宿題ノートにその旨をメモしておいてもらえると, 添削時にコメントできます.

(解説のダウンロードの仕方などについては, この文章の最後にある **■その他困った時は** を参照.)

## IV. 翌週の授業で提出

以上のことを実行すると 2~3 日に分けて計 2~3 時間になると思います. 授業の前に必死で宿題を終えようとしている人がいますが, それでは I. や III. のステップが十分に行えず, 正しく身につかない可能性があります.

### [HW 提出について]

宿題提出の目的は以下の 2 つです.

#### 1. 答案の中身のチェック

(数学でよくある「答えは合っているが過程にマズイところがある/答えは合っていないが正しい過程を踏めている」をチェックする目的. 「答えが合っているか否か/単純な計算ミスの箇所」など自身で確認できるところはチェックした上で提出を!)

#### 2. 学習習慣の定着のため

(「提出してもしなくても良い」よりは「毎週提出する」と決めて取り組んだ方がメリハリが付くはず.)

形式については,

- ・ 提出はノートではなく「ルーズリーフなどかさばらないもの」で.
- ・ 1 ページ目に 

在籍クラス・曜日・氏名
-------------

 をわかるように記入すること.
- ・ B5 ノート 1 ページあたり 大問1つ (多くても 2 つ) を目安に, 余白を広めにとって演習してください. (びっしり埋まっていると添削のコメントを入れるスペースがなくなってしまう.)

上記 1. にもある通り, 「とりあえずやった成果を提出してほしい」のではなく「数学をしっかり身につけるためのサポートをすること」が目的です. 以下のような取り組み方は意味がないことに注意してください:

- × 計算の羅列ばかりで, どのように考えて式や答えが導かれたのか一切説明がない (単純な計

算問題を除く).

(↑大学入試では「その答えが得られた過程を日本語を交えて」表現する必要があり、他者が読んで分からない答案はまず評価されない.)

× 解説を見ながらあたかも自力で解いたかのように見せかける.

(↑数学の先生が見ればすぐにわかる.)

**■その他困った時は** テキストの裏表紙「生徒の皆さんへ」に各種の案内が記載されています。数学の勉強について質問・相談がある時は、

[mj3@gnoble.co.jp](mailto:mj3@gnoble.co.jp)

へご連絡ください。映像授業ページの「質問」ボタンからもメールで質問することができます。

「テキストの問題の解説を読んだがいまいちよくわからなかった」「授業で説明を聞き逃したので教えてほしい」「次の講習やクラス分けテストまでにどういうことを勉強すれば良いかアドバイスがほしい」等、数学の学習全般に関してなんでも OK です。